

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【公表番号】特表 2019-525898 (P2019-525898A)

【公表日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-037

【出願番号】特願 2018-564945 (P2018-564945)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/02 (2006.01)

A 6 1 K 35/28 (2015.01)

A 6 1 K 35/26 (2015.01)

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

A 6 1 K 31/7076 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

A 6 1 K 9/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/19 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2015.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 35/761 (2015.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/12 (2006.01)

C 0 7 K 14/725 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 38/02

A 6 1 K 35/28

A 6 1 K 35/26

A 6 1 K 31/675

A 6 1 K 31/7076

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K	9/02	
A 6 1 K	38/20	
A 6 1 K	9/19	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	35/17	Z
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	35/761	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 K	48/00	
C 1 2 N	5/10	Z N A
C 1 2 N	15/12	
C 0 7 K	14/725	
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	

## 【手続補正書】

【提出日】令和2年6月12日(2020.6.12)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト白血球抗原(HLA)分子が標的細胞上の少なくとも1つのさらなるHLA分子と複合体化し、前記標的細胞上の前記HLA分子又はその部分に選択的に結合するポリペプチドであって、複合体化されていないHLA分子に結合せず、前記HLA分子がHLA-A\*24:02血清型である、ポリペプチド。

【請求項 2】

少なくとも2つのHLA分子が、前記標的細胞上で共に複合体化されている、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 3】

前記標的細胞が、がん細胞である、請求項 1 または 2 に記載のポリペプチド。

【請求項 4】

前記がん細胞が、前記HLA分子を異常に発現する、請求項 3 に記載のポリペプチド。

【請求項 5】

前記複合体化が、同等の正常細胞上には存在しない、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のポリペプチド及び / 又は前記ポリペプチドをコードする核酸分子を含む、遺伝子操作された細胞。

【請求項 7】

前記細胞が、T細胞である、請求項 6 に記載の遺伝子操作された細胞。

【請求項 8】

前記細胞が、T細胞である、請求項 7 に記載の遺伝子操作された細胞。

**【請求項 9】**

前記細胞が、前記ポリペプチドを発現するように改変されている、請求項 6 から 8 のいずれか一項に記載の遺伝子操作された細胞。

**【請求項 10】**

前記改変が、レンチウイルス、レトロウイルス、アデノウイルス、及びこれらの任意の組合せからなる群から選択されるウイルスを使用する形質導入を含む、請求項 9 に記載の遺伝子操作された細胞。

**【請求項 11】**

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のポリペプチド又は請求項 6 から 10 のいずれか一項に記載の細胞を含む組成物。

**【請求項 12】**

a. 請求項 11 に記載の組成物と、  
b. 賦形剤、希釈剤、又は担体のうちの少なくとも1つと  
を含む医薬組成物である、請求項 11 に記載の組成物。

**【請求項 13】**

がんの治療のための使用のための、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項 6 から 10 のいずれか一項に記載の細胞、請求項 11 または 12 に記載の組成物。

**【請求項 14】**

ヒト白血球抗原(HLA)-A\*24:02の少なくとも一部に結合する第1の治療剤を投与する工程、及びそれに続いて前記第1の治療剤を再投与する工程と、第2の治療剤を投与する工程とのうちの少なくとも一方の工程を含む、異常なHLA-A\*24:02発現を含む疾患の治療のための使用のための、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項 6 から 10 のいずれか一項に記載の細胞、請求項 11 または 12 に記載の組成物。

**【請求項 15】**

前記ポリペプチド、細胞又は組成物が、少なくとも1つのさらなる治療剤と組み合わせ、それを必要とする前記対象に投与される、がんの治療のための、又は異常なHLA-A\*24:02発現を含む疾患の治療のための使用のための、請求項 13 または 14 に記載のポリペプチド、細胞、組成物。

**【請求項 16】**

前記更なる治療剤が、サイトカイン、化学療法、放射線、又はそれらの組合せのうちの少なくとも1つである、がんの治療のための、又は異常なHLA-A\*24:02発現を含む疾患の治療のための使用のための、請求項 15 に記載のポリペプチド、細胞、組成物。

**【請求項 17】**

前記ポリペプチド、細胞、組成物が、それを必要とする前記対象の前記疾患を少なくとも部分的に緩和する、がんの治療のための、又は異常なHLA-A\*24:02発現を含む疾患の治療のための使用のための、請求項 14 から 16 のいずれか一項に記載のポリペプチド、細胞、組成物。